

個人打撃成績

現在

選手名	チームID	チーム名	打率	試合数	打席数	打数	安打	本塁打
相原道哉	OP		0.272	72	316	298	81	13
赤井久	KG		0.279	69	235	208	58	5
安部隆二	KG		0.297	55	251	229	68	1
荒木博仁	KR		0.302	72	303	278	84	13
石井道久	OP		0.302	70	316	288	87	24
井上謙信	JM		0.307	73	320	283	87	3
岩田裕樹	OP		0.315	72	308	270	85	16
大野幸助	SB		0.354	65	289	246	87	16
岡田直哉	KR		0.294	73	299	272	80	13
金井和夫	KR		0.310	72	307	261	81	24
金城アレックス	SS		0.272	72	309	272	74	6
黒田健作	KR		0.277	66	250	224	62	9
小森隆介	AS		0.271	70	321	280	76	0
島尚太郎	AS		0.284	55	233	211	60	5
谷原省吾	SS		0.278	69	288	259	72	8
鳥山武	IN		0.300	64	248	223	67	5
中田修	KR		0.311	72	314	289	90	9
畑田大輔	OP		0.283	72	331	283	80	4
花村大二郎	AS		0.310	69	267	239	74	10
東山弘毅	KR		0.338	72	338	293	99	6
星野護	ME		0.273	64	265	245	67	12
本田友則	SS		0.307	72	315	267	82	13
前田聡	SB		0.312	66	259	231	72	11
町田準之助	SS		0.336	71	296	259	87	20
宮元守弘	AS		0.282	69	273	248	70	0
村井滋	AS		0.274	73	306	266	73	17
森純大	OP		0.290	61	245	221	64	4
森村秀雄	ER		0.290	72	302	269	78	8

三振	四球	死球	犠打 犠飛	打率 順位	本塁打 順位	打率 表彰	本塁打 表彰
51	9	4	5				
42	19	2	6				
25	13	1	8				
58	16	4	5				
56	16	11	1				
50	32	2	3				
63	35	1	2				
47	38	3	2				
57	15	6	6				
76	42	1	3				
29	24	7	6				
47	16	3	7				
47	30	6	5				
26	13	2	7				
43	26	2	1				
38	18	4	3				
60	21	0	4				
35	30	4	14				
40	21	4	3				
39	34	8	3				
51	14	3	3				
49	40	5	3				
21	20	5	3				
63	28	5	4				
30	14	3	8				
77	20	13	7				
31	14	3	7				
56	29	2	2				

チーム一覧

チームID	チーム名
SB	渋谷ブラザーズ
AS	青山ソックス
SS	品川スニーカーズ
KR	川崎レインボー
KG	川崎ゴールデンアイ
OP	御茶ノ水プレイメーツ
IN	池袋ナイン
ER	恵比寿ルークス
ME	目黒イーグルス
JM	自由が丘ミラクル

VLOOKUP関数 =VLOOKUP(検索値,範囲,列番号,[検索方法])

=VLOOKUP(B5,商品一覧!\$A\$2:\$C\$12,2,0)

- ① **検索値** ……データの一覧表から「商品名」を探す手がかりとなる値。
ここでは、「請求書」シートの「商品番号」に入力される値 (=「100」) のこと。
- ② **範囲** ……「商品一覧」シートにあるデータの範囲。
ここから検索値 (=「100」) を手がかりに、求める「商品名」を探します。
- ③ **列番号** ……自動入力したいデータが範囲の何列目にあるかを指定します。
「商品名」がある「2列目」を指定すると、検索値「100」がある行の2列目 = 「ボールペン」が、「請求書」シートに自動入力されます。
- ④ **検索方法** ……範囲から検索値を探すときの検索方法を指定します。「完全一致」のデータのみ検索する方法と、「近似値」のデータを検索する方法の2種類があります。

商品番号	商品名	単価	数量	金額

番号	商品名	単価
100	ボールペン	100
101	シャープペンシル	150
102	修正テープ	250
103	ステックのり	200
104	ホッチキス	500
105	クリップ	350

①

関数の挿入

関数の検索(S):
何がしたいかを簡単に入力して、[検索開始] をクリックしてください。 [検索開始(S)]

関数の分類(C): **すべて表示**

関数名(N):
RAND
RANDBETWEEN
RANK
RANK.AVG
RANK.EQ
RATE
RECEIVED

RANK(数値, 参照, 順序)
この関数は Excel 2007 以前のバージョンと互換性があります。
順序に従って範囲内の数値を並べ替えたとき、数値が何番目に位置するかを返します。

この関数のヘルプ

OK キャンセル

	販売個数	順位
阿部	189	
安田	135	
立川	114	
小泉	190	
吉川	249	
今田	99	
高嶋	106	
竹内	98	
和田	197	

②

関数の挿入

RANK

数値 B4 = 189

参照 B4:B13 = {189;135;114;189;249;98;98;...}

順序 0 = 降順

= 3

③

関数の挿入

RANK

数値 B4 = 189

参照 \$B\$4:\$B\$13 = {189;135;114;189;249;98;98;106}

順序 1 = 昇順

= 3

最後の「順序」欄に文字カーソルを移すことができました。
この欄には、順位を付ける時に、大きいほうから数えて1位、2位・・・としたいのか、それとも小さいほうから数えて1位、2位・・・としたいのかを設定します。
大きいほうから数えて1位、2位・・・としたい場合には「0 (ゼロ)」を、小さいほうから数えて1位、2位・・・としたい場合には「1」を入力します。

	A	B	C	D	E
1	キャンペーン商品販売個数				
2					
3		目標	実績	販売会議	
4	阿部	120	143		
5	安田	140	189		

① キャンペーン商品販売個数

	目標	実績	販売会議
阿部	120	143	
安田	140	189	

	目標	実績	販売会議
阿部	120	143	
安田	140	189	

「実績が150以下」だったら「要出席」、そうじゃなければ「任意」

	A	B	C	D	E
1	キャンペーン商品販売個数				
2					
3		目標	実績	販売会議	
4	阿部	120	143		
5	安田	140	189		
6	立川	200	150		

②

	A	B	C	D	E
1	キャンペーン商品販売個数				
2					
3		目標	実績	販売会議	
4	阿部	120	143		
5	安田	140	189		

関数の挿入

関数の検索(S):

関数の分類(C):

関数名(N):
 HYPERLINK
 HYPGEOM.DIST
 HYPGEOMDIST
IF
 IFERROR
 IFNA
 IFS

③

	A	B	C	D	E	F	G
1	キャンペーン商品販売個数						
2							
3		目標	実績	販売会議			
4	阿部	120	143	=IF(C4)			
5	安田	140	189				
6	立川	200	150				

関数の引数

IF

論理式: = TRUE
 偽が真の場合: = すべて
 偽が偽の場合: = すべて

>	C4>150	C4番地のデータが150より大きい
>=	C4>=150	C4番地のデータが150以上
<	C4<150	C4番地のデータが150より小さい (未満)
<=	C4<=150	C4番地のデータが150以下
=	C4=150	C4番地のデータが150と等しい (同じ)
<>	C4<>150	C4番地のデータが150と等しくない (同じじゃない)

④

関数の引数 ? X

IF

論理式 C4<=150 = TRUE

値が真の場合 = すべて

値が偽の場合 = すべて

=

論理式の結果 (真または偽) に応じて、指定された値を返します

論理式 には結果が真または偽になる値、もしくは数式を指定します

⑤

関数の引数 ? X

IF

論理式 C4<=150 = TRUE

値が真の場合 "要出席" = "要出席"

値が偽の場合 = すべて

= "要出席"

論理式の結果 (真または偽) に応じて、指定された値を返します

値が真の場合 には論理式の結果が真であった場合に返される値を指定します。省略された場合、TRUE が返されます。最大 7 つまでの IF 関数をネストすることができます

関数の引数 ? X

IF

論理式 C4<=150 = TRUE

値が真の場合 "要出席" = "要出席"

値が偽の場合 "任意" = "任意"

= "要出席"

論理式の結果 (真または偽) に応じて、指定された値を返します

値が偽の場合 には論理式の結果が偽であった場合に返される値を指定します。省略された場合、FALSE が返されます